

みながわじょうし とちぎしみながわじょうないちょう  
皆川城址（栃木市皆川城内町）

皆川城址



えいきょう  
永享元（142

9年）に会津田島

より移封した

ながぬまひでむね みながわ  
長沼秀宗と皆川

しょだい  
初代を名のる氏

ひで  
秀父子が、その後の歳月をかけて、観音山に山城を築いたのが、皆

がわじょう  
川城のおこりです。世は戦国時代に入り、この皆川城も皆川広照

（1548～1627）とともに幾多の動乱に巻き込まれることに

なります。戦国時代後半には、上杉氏や北条氏といった強力な

せんごくだいみょう せいりよく ちいき およ げきどう せんごくじだい  
戦国大名の勢力もこの地域に及んできました。激動の戦国時代に

作られた典型的な中世の山城です。その形から別名ほら貝城と呼

ばれています。